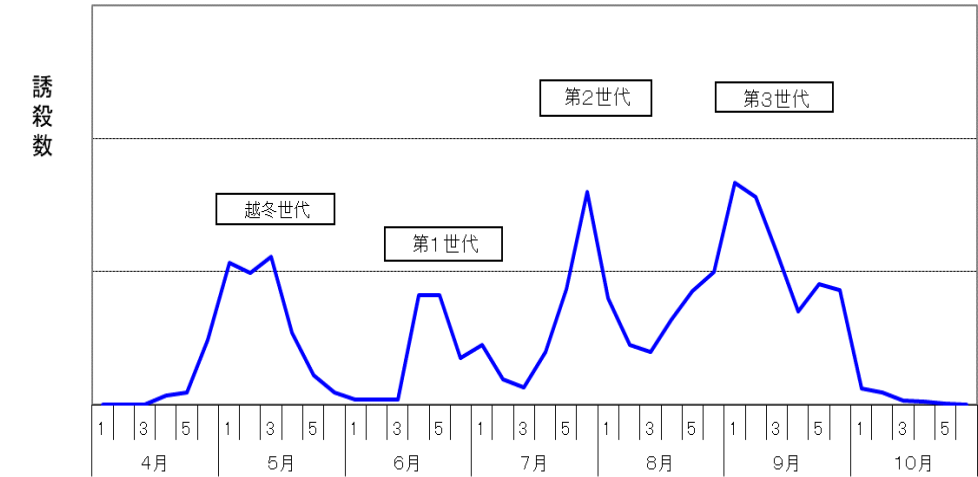


スモモヒメシנקイのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病虫害防除部

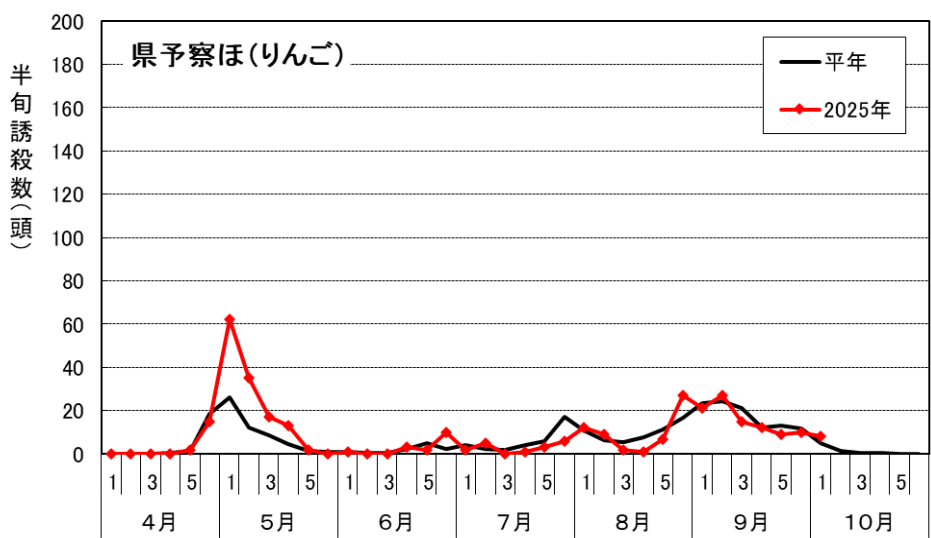
過去 10 年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年 3 ～ 4 回発生する。
- ・越冬世代成虫は 4 月下旬～ 5 月上旬、第 1 世代成虫は 6 月下旬～ 7 月上旬、第 2 世代成虫は 7 月下旬～ 8 月上旬、第 3 世代成虫は 9 月上旬に発生する。
- ・日本すももは、第 1 世代、第 2 世代の卵及びふ化幼虫の防除を行う。
- ・りんごは、第 3 世代の卵及びふ化幼虫を対象に、8 月中旬頃から 5 ～ 7 日間隔で防除する。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



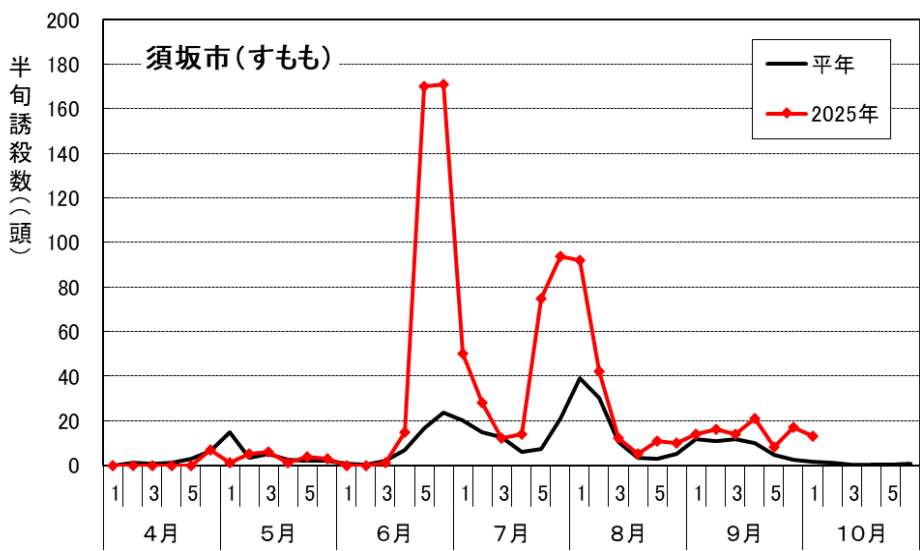
【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市 長野県果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は 2015 年～2024 年の平均値

【コメント】

- ・発生消長（誘殺数の増減時期）はほぼ平年と同じであるが、10 月に入っても 9 月第 3 半旬からの水準がほぼ続いており、発生期間が平年よりやや長くなる兆しもみられる。

○須坂市（病虫害防除部）



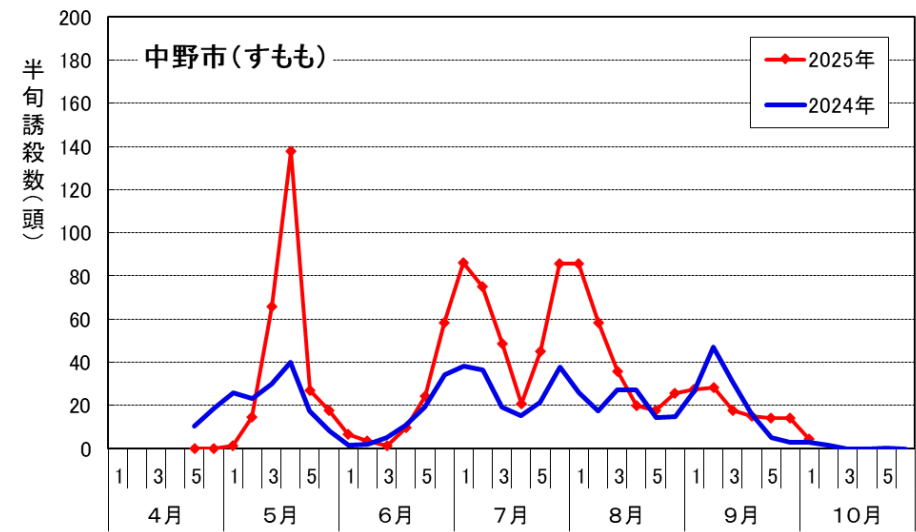
【調査地点】（標高約 370m）

- ・須坂市（日本すももほ場）
- ・平年は 2015 年～2024 年の平均値

【コメント】

- ・8 月下旬から半旬で 10 頭前後の誘殺が 10 月頭まで継続している。
- ・平年では 9 月後半から誘殺数が減少していき、10 月には 2 頭以下となるが、本年は二けたの誘殺がまだみられ、発生期間が長くなる兆しがある。

○中野市（※北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約 350m）

- ・中野市（日本すももほ場）
- ・2024 年からほ場を変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・須坂市の観察地点と同様、昨年は 9 月後半にはほとんど誘殺がなかったが、本年は 9 月第 3 半旬から、半旬 15 頭前後で横ばいとなっていた。10 月第 1 半旬でも約 5 頭誘殺され、本地点も発生期間が長くなる兆しがみられる。